



時代を生き抜く名言

学生が心を動かされた言葉を紹介します

プロ野球選手として20年間中日ドラゴンズ一筋でプレーした井上一樹さん(51)。背番号99、ピンクのリストバンドで知られ、多くのファンに愛された。「勝って上向かず、負けて下向かず」(「井上一樹自伝『嗚呼、野球人生紙一重』」から)。引退後、サインを求

められた際に色紙に添えている言葉だ。
ドラフト2位で投手として入団したが身が出ず、野手に転向した。プロ9年目で1軍に定着。リーグ優勝のかかる試合での決勝打や選手会長、さらには日本一も経験した。そんな自身の野球人生を「紙一重の局面の連続」だったと振り返り、戒めの意味も含めてこの言葉を大切にしているそうだ。
誰も、うまくいくこともそうでないこともあるだろう。そのとき、有頂天になっ

て周りが見えなくなったり、反対にひどく落ち込んだりすることはないだろうか。勝っても負けても前を向く。何事も未来への糧とし、自分が「こうありたい」という姿を見失わずに生きていきたい。
(愛知教育大4年、池内友音)